

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-118842

(43)Date of publication of application : 19.04.2002

(51)Int.Cl.

**H04N 7/173**

**G06F 13/00**

**G06F 17/60**

**H04N 5/445**

(21)Application number : 2000-305419

(71)Applicant : SANYO ELECTRIC CO LTD

(22)Date of filing : 04.10.2000

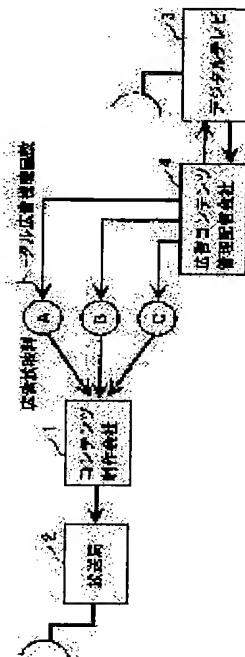
(72)Inventor : KUWATA KAIHEI

## (54) ADVERTISEMENT DISTRIBUTION METHOD AND ADVERTISEMENT DISPLAY METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an advertisement distribution method by which users can view only its desirable advertisement.

SOLUTION: Users set advertisements desirably viewed by the users and the view frequency of each advertisement to an advertisement contents management distribution company and their digital television receivers, the advertisement contents management distribution company transmits advertisement contents corresponding to the advertisements set by the users to the users' digital television receivers altogether, and each digital television receiver stores the advertisement contents transmitted from the advertisement contents management distribution company and displays each advertisement contents at time intervals depending on the view frequency set by each user when the power supply of the television receiver is turned on.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 01.02.2005

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-118842

(P2002-118842A)

(43)公開日 平成14年4月19日 (2002.4.19)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	ラ-23-ト <sup>8</sup> (参考)
H 04 N 7/173	6 4 0	H 04 N 7/173	6 4 0 A 5 B 0 4 9
G 06 F 13/00	5 4 7	G 06 F 13/00	5 4 7 T 5 C 0 2 5
17/60	Z E C	17/60	Z E C 5 C 0 6 4
	3 0 2		3 0 2 E
	3 2 6		3 2 6

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 7 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2000-305419(P2000-305419)

(71)出願人 000001889

三洋電機株式会社

(22)出願日 平成12年10月4日 (2000.10.4)

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(72)発明者 鈴田 海平

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三  
洋電機株式会社内

(74)代理人 100086391

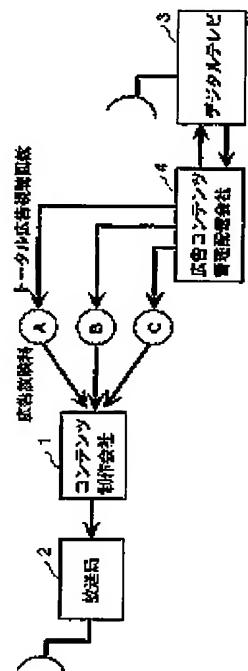
弁理士 畑山 秀幸

(54)【発明の名称】 広告記信方法および広告表示方法

(57)【要約】

【課題】 この発明は、ユーザが希望する広告のみを視聴できるようになる広告配信方法を提供することを目的とする。

【解決手段】 広告コンテンツ管理配信会社およびデジタルテレビ受信機に対して、ユーザが視聴したい広告とその広告を視聴したい頻度とをユーザに設定させておき、広告コンテンツ管理配信会社は、ユーザによって設定された各広告に対応する広告コンテンツを一括してユーザのデジタルテレビ受信機に送信し、デジタルテレビ受信機は、広告コンテンツ管理配信会社から送信された各広告コンテンツを記憶し、デジタルテレビ受信機の画面上がオンとなっている場合に、各広告コンテンツをそれに対してユーザによって設定されている視聴頻度に応じた時間間隔で表示させる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 広告コンテンツ管理配信会社およびデジタルテレビ受信機に対して、ユーザが視聴したい広告とその広告を視聴したい頻度とをユーザに設定させておき、

広告コンテンツ管理配信会社は、ユーザによって設定された各広告に対応する広告コンテンツをユーザのデジタルテレビ受信機に送信し、

デジタルテレビ受信機は、広告コンテンツ管理配信会社から送信された各広告コンテンツを記憶し、各広告コンテンツをそれに対してユーザによって設定されている視聴頻度に応じて表示させるようにした広告配信方法。

【請求項2】 デジタルテレビ受信機は、広告コンテンツ毎の視聴履歴情報を、広告コンテンツの視聴毎にまたは定期的に広告コンテンツ管理配信会社に通知する請求項1に記載の広告配信方法。

【請求項3】 広告コンテンツ管理配信会社は、各ユーザのデジタルテレビ受信機から得られた広告コンテンツ毎の視聴履歴情報に基づいて、広告主であるスポンサー毎の広告コンテンツのトータル視聴回数を算出するようにし、広告コンテンツ管理配信会社によって算出されたスポンサー毎の広告コンテンツのトータル視聴回数を、各スポンサーの広告放映料の算出に利用できるようにした請求項2に記載の広告配信方法。

【請求項4】 広告コンテンツ管理配信会社は、広告主である各スポンサーが提案した、ユーザに対する特典とユーザがその特典を享受するための広告コンテンツの視聴条件とからなるユーザメリットを、ユーザに提示し、ユーザが希望するユーザメリットをユーザに選択設定させておき、各ユーザのデジタルテレビ受信機から得られた広告コンテンツ毎の視聴履歴情報に基づいて、ユーザが選択したユーザメリットに対応する視聴条件が満たされた場合には、その旨を当該ユーザメリットを提供したスポンサーに通知するようにした請求項2および3のいずれかに記載の広告配信方法。

【請求項5】 ユーザが視聴したい広告を特定する広告特定情報とその広告を視聴したい頻度を示す頻度情報をユーザから取得し、ユーザから取得した広告特定情報によって特定された各広告に対応する広告コンテンツをユーザのデジタルテレビ受信機に送信し、

デジタルテレビ受信機に、デジタルテレビ受信機が受信した各広告コンテンツを記憶させ、かつ各広告コンテンツをそれに対してユーザから取得した頻度情報を応じて表示させるようにした広告配信方法。

【請求項6】 ユーザによって予め設定された各広告に対応する広告コンテンツを、広告コンテンツ管理配信会社から受信し、

広告コンテンツ管理配信会社から受信した各広告コンテンツを記憶し、各広告コンテンツをそれに対してユーザによって予め設定されている視聴頻度に応じて表示する

ようにした広告表示方法。

【請求項7】 広告コンテンツ管理配信会社に対して、ユーザが視聴したい広告とその広告を視聴したい頻度とをユーザに設定させておき、

広告コンテンツ管理配信会社は、ユーザによって設定された各広告に対応する広告コンテンツの送信時刻を、それに対してユーザによって設定されている視聴頻度に応じて決定し、広告コンテンツの送信時刻になったときには、ユーザのデジタルテレビ受信機の電源がオンとなっているか否かを確認し、デジタルテレビ受信機の電源がオンとなっているときには、その広告コンテンツをデジタルテレビ受信機に送信し、

デジタルテレビ受信機は、広告コンテンツ管理配信会社から広告コンテンツが送られてきたときには、その広告コンテンツをリアルタイムで表示するようにした広告配信方法。

【請求項8】 広告コンテンツ管理配信会社は、各ユーザのデジタルテレビ受信機によって視聴された広告コンテンツ毎の視聴履歴を管理するようにした請求項7に記載の広告配信方法。

【請求項9】 広告コンテンツ管理配信会社は、自己が管理している視聴履歴に基づいて、広告主であるスポンサー毎の広告コンテンツのトータル視聴回数を算出するようにし、広告コンテンツ管理配信会社によって算出されたスポンサー毎の広告コンテンツのトータル視聴回数を、各スポンサーの広告放映料の算出に利用できるようにした請求項8に記載の広告配信方法。

【請求項10】 広告コンテンツ管理配信会社は、広告主である各スポンサーが提案した、ユーザに対する特典とユーザがその特典を享受するための広告コンテンツの視聴条件とからなるユーザメリットを、ユーザに提示し、ユーザが希望するユーザメリットをユーザに選択設定させておき、広告コンテンツ管理配信会社が管理している視聴履歴に基づいて、ユーザが選択したユーザメリットに対応する視聴条件が満たされた場合には、その旨を当該ユーザメリットを提供したスポンサーに通知するようにした請求項8および9のいずれかに記載の広告配信方法。

【請求項11】 ユーザが視聴したい広告を特定する広告特定情報とその広告を視聴したい頻度を示す頻度情報をユーザから取得し、

ユーザから取得した広告特定情報によって特定された各広告に対応する広告コンテンツの送信時刻を、それに対してユーザから取得した頻度情報を応じて決定し、広告コンテンツの送信時刻になったときには、ユーザのデジタルテレビ受信機の電源がオンとなっているか否かを確認し、デジタルテレビ受信機の電源がオンとなっているときには、その広告コンテンツをデジタルテレビ受信機に送信し、

デジタルテレビ受信機が広告コンテンツを受信したとき

3  
に、デジタルテレビ受信機にその広告コンテンツをリアルタイムで表示させるようにした広告配信方法。

【請求項12】ユーザによって予め設定された各広告に対応する広告コンテンツを、それに対してユーザによって予め設定されている視聴頻度に応じたタイミングで、広告コンテンツ管理配信会社から受信し、広告コンテンツ管理配信会社から広告コンテンツを受信した際に、その広告コンテンツをリアルタイムで表示するようにした広告表示方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、広告配信方法および広告表示方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、広告コンテンツは放送コンテンツと一体的に放送局から送出されており、ユーザは放映される広告コンテンツを受動的に見るという形態であった。このような形態では、ユーザが希望する広告のみを視聴するといったことが困難であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】この発明は、ユーザが希望する広告のみを視聴できるようになる広告配信方法および広告表示方法を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】この発明による第1の広告配信方法は、広告コンテンツ管理配信会社およびデジタルテレビ受信機に対して、ユーザが視聴したい広告とその広告を視聴したい頻度とをユーザに設定させており、広告コンテンツ管理配信会社は、ユーザによって設定された各広告に対応する広告コンテンツを一括してユーザのデジタルテレビ受信機に送信し、デジタルテレビ受信機は、広告コンテンツ管理配信会社から送信された各広告コンテンツを記憶し、デジタルテレビ受信機の電源がオンとなっている場合に、各広告コンテンツをそれに対してユーザによって設定されている視聴頻度に応じた時間間隔で表示させるようにしたことを特徴とする。

【0005】デジタルテレビ受信機は、広告コンテンツ毎の視聴履歴情報を、広告コンテンツの視聴毎にまたは定期的に広告コンテンツ管理配信会社に通知することが好ましい。

【0006】広告コンテンツ管理配信会社は、各ユーザのデジタルテレビ受信機から得られた広告コンテンツ毎の視聴履歴情報に基づいて、広告主であるスポンサー毎の広告コンテンツのトータル視聴回数を算出するようにし、広告コンテンツ管理配信会社によって算出されたスポンサー毎の広告コンテンツのトータル視聴回数を、各スポンサーの広告放映料の算出に利用できるようになることが好ましい。

【0007】広告コンテンツ管理配信会社は、広告主である各スポンサーが提案した、ユーザに対する特典とユ

10

20

30

40

50

ーザがその特典を享受するための広告コンテンツの視聴条件とからなるユーザメリットを、ユーザに提示し、ユーザが希望するユーザメリットをユーザに選択設定させておき、各ユーザのデジタルテレビ受信機から得られた広告コンテンツ毎の視聴履歴情報に基づいて、ユーザが選択したユーザメリットに対応する視聴条件が満たされた場合には、その旨を当該ユーザメリットを提供したスポンサーに通知するようになることが好ましい。

【0008】この発明による第2の広告配信方法は、ユーザが視聴したい広告を特定する広告特定情報とその広告を視聴したい頻度を示す頻度情報をユーザから取得し、ユーザから取得した広告特定情報によって特定された各広告に対応する広告コンテンツをユーザのデジタルテレビ受信機に送信し、デジタルテレビ受信機に、デジタルテレビ受信機が受信した各広告コンテンツを記憶させ、かつ各広告コンテンツをそれに対してユーザから取得した頻度情報を応じて表示させるようにしたことを特徴とする。

【0009】この発明による第1の広告表示方法は、ユーザによって予め設定された各広告に対応する広告コンテンツを、広告コンテンツ管理配信会社から受信し、広告コンテンツ管理配信会社から受信した各広告コンテンツを記憶し、各広告コンテンツをそれに対してユーザによって予め設定されている視聴頻度に応じて表示するようにしたことを特徴とする。

【0010】この発明による第3の広告配信方法は、広告コンテンツ管理配信会社に対して、ユーザが視聴したい広告とその広告を視聴したい頻度とをユーザに設定させておき、広告コンテンツ管理配信会社は、ユーザによって設定された各広告に対応する広告コンテンツの送信時刻を、それに対してユーザによって設定されている視聴頻度に応じて決定し、広告コンテンツの送信時刻になったときには、ユーザのデジタルテレビ受信機の電源がオンとなっているか否かを確認し、デジタルテレビ受信機の電源がオンとなっているときには、その広告コンテンツをデジタルテレビ受信機に送信し、デジタルテレビ受信機は、広告コンテンツ管理配信会社から広告コンテンツが送られてきたときには、その広告コンテンツをリアルタイムで表示するようにしたことを特徴とする。

【0011】広告コンテンツ管理配信会社は、各ユーザのデジタルテレビ受信機によって視聴された広告コンテンツ毎の視聴履歴を管理するようになることが好ましい。広告コンテンツ管理配信会社は、自己が管理している視聴履歴に基づいて、広告主であるスポンサー毎の広告コンテンツのトータル視聴回数を算出するようにし、広告コンテンツ管理配信会社によって算出されたスポンサー毎の広告コンテンツのトータル視聴回数を、各スポンサーの広告放映料の算出に利用できるようになることが好ましい。

【0012】広告コンテンツ管理配信会社は、広告主で

ある各スポンサーが提案した、ユーザに対する特典とユーザがその特典を享受するための広告コンテンツの視聴条件とからなるユーザメリットを、ユーザに提示し、ユーザが希望するユーザメリットをユーザに選択設定させておき、広告コンテンツ管理配信会社が管理している視聴履歴に基づいて、ユーザが選択したユーザメリットに対応する視聴条件が満たされた場合には、その旨を当該ユーザメリットを提供したスポンサーに通知するようになりますことが好ましい。

【0013】この発明による第4の広告配信方法は、ユーザが視聴したい広告を特定する広告特定情報とその広告を視聴したい頻度を示す頻度情報とをユーザから取得し、ユーザから取得した広告特定情報によって特定された各広告に対応する広告コンテンツの送信時刻を、それに対してユーザから取得した頻度情報に応じて決定し、広告コンテンツの送信時刻になったときには、ユーザのデジタルテレビ受信機の電源がオンになっているか否かを確認し、デジタルテレビ受信機の電源がオンとなっているときには、その広告コンテンツをデジタルテレビ受信機に送信し、デジタルテレビ受信機が広告コンテンツを受信したときに、デジタルテレビ受信機にその広告コンテンツをリアルタイムで表示させるようにしたことを特徴とする。

【0014】この発明による第2の広告表示方法は、ユーザによって予め設定された各広告に対応する広告コンテンツを、それに対してユーザによって予め設定されている視聴頻度に応じたタイミングで、広告コンテンツ管理配信会社から受信し、広告コンテンツ管理配信会社から広告コンテンツを受信した際に、その広告コンテンツをリアルタイムで表示するようにしたことを特徴とする。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態について説明する。

【0016】(1) 基本的な実施の形態の説明

【0017】図1は、広告配信システムの構成を示している。

【0018】番組コンテンツ制作会社1は、番組コンテンツを制作する。番組コンテンツ制作会社1によって制作された番組コンテンツは、放送局2によって放送される。放送局によって放送された番組コンテンツは、各家庭のデジタルテレビ3によって受信される。デジタルテレビ3は、プラウザ機能を備えている。

【0019】広告コンテンツ管理配信会社4は、デジタルテレビ3のユーザに広告選択等を行なわすためのホームページを開設している。デジタルテレビ3のユーザは、広告コンテンツ管理配信会社4が開設しているホームページにアクセスして、自分が見たい広告を選択する。

【0020】図2は、広告コンテンツ管理配信会社4が

提供するホームページ(We bページ)によってユーザ(デジタルテレビ3)に提供される広告選択画面の一例を示している。

【0021】この例では、説明の便宜上、広告を出す企業スポンサーを株式会社A、B、Cで表すものとする。

【0022】広告選択画面には、広告企業リスト11が表示されており、広告企業リスト11から広告を見たい企業を選択すると、第1階層の広告カテゴリリスト12がプルダウンメニュー形式で表示される。

【0023】第1階層の広告カテゴリリスト12から広告を見たいカテゴリを選択すると、第2階層の広告カテゴリリスト13がプルダウンメニュー形式で表示される。

【0024】そして、第2階層の広告カテゴリリスト13から、ユーザが自分が見たい広告項目を選択すると、広告視聴頻度入力画面が表示される。

【0025】図3は、広告視聴頻度入力画面の一例を示している。

【0026】広告視聴頻度入力画面には、ユーザが選択した広告情報(会社名21、第1階層の広告カテゴリリスト12から選択された項目22および第2階層の広告カテゴリリスト13から選択された項目23)、その広告を視聴したい頻度情報(視聴頻度情報)24および視聴頻度情報設定部25が表示される。

【0027】ユーザは、現在アクティブとなっている広告情報に対して、視聴頻度情報設定部25を用いて視聴頻度を設定する。この例では、視聴頻度は、1時間に視聴したい回数を表している。

【0028】広告コンテンツ管理配信会社4は、デジタルテレビ3毎に、そのユーザによって選択された広告情報および視聴頻度情報ならびにそれに応じた広告コンテンツを、デジタルテレビ3にインターネット等を通じて一括送信する。デジタルテレビ3は、広告コンテンツ管理配信会社4から一括送信されてきた広告情報、視聴頻度情報および広告コンテンツを記憶装置に記憶する。

【0029】デジタルテレビ3は、デジタルテレビ3の電源がオン(番組コンテンツが放映されている状態)となっているときに、各広告コンテンツをユーザによって設定された頻度で表示する。広告コンテンツの表示方法としては、子画面表示、バナー表示等がある。そして、デジタルテレビ3は、各広告コンテンツ毎にそれが表示された回数を、広告視聴履歴情報として記憶装置に記憶する。そして、デジタルテレビ3は、定期的に、広告視聴履歴情報をインターネット、電話回線等を介して、広告コンテンツ管理配信会社4に送信する。

【0030】広告コンテンツ管理配信会社4は、各デジタルテレビ3から取得した広告視聴履歴情報に基づいて、各企業スポンサーA、B、C毎に、その企業の広告が視聴されたトータルの回数(トータル広告視聴回数)を算出して、各企業スポンサーA、B、Cに報告する。

【0031】各企業スポンサーA、B、Cは、広告コンテンツ管理配信会社4によって報告されたトータル広告視聴回数に応じた広告放映料を番組コンテンツ制作会社1に支払う。

【0032】なお、ある企業スポンサーの広告を所定回数以上視聴したユーザに対して、特典を与えるようにしてもよい。

【0033】つまり、広告コンテンツ管理配信会社4は、あるユーザがある企業スポンサーの広告を所定回数以上視聴したと判定した場合には、そのことをユーザ特定情報とともに、当該企業スポンサーに報告する。当該企業スポンサーは、当該ユーザに、割引券等を郵送する。また、当該ユーザが当該企業スポンサーの商品をクレジットカードで購入した際に、キャッシュバックを行なうようにしてもよい。また、当該企業スポンサーが顧客に対してポイントカードを発行している場合には、当該ユーザに対するポイントカードのポイントを加算するようにしてもよい。

【0034】なお、広告コンテンツをデジタルテレビ3に送信する方法として、次のような方法を採用してもよい。

【0035】つまり、広告コンテンツ管理配信会社4は、デジタルテレビ3毎に、そのユーザによって選択された広告情報に対応した広告コンテンツを、そのユーザによって選択された視聴頻度情報に応じた時間間隔で送信する。ただし、広告コンテンツ管理配信会社4は、送信時には、デジタルテレビ3の電源がオン（番組コンテンツが放映されている状態）となっているか否かを確認し、デジタルテレビ3の電源がオンとなっている場合のみ広告コンテンツを送信する。

【0036】このようにした場合には、デジタルテレビ3は、広告コンテンツ管理配信会社4から広告コンテンツを受信する毎に、受信した広告コンテンツをリアルタイムで表示する。

【0037】また、このようにした場合には、広告コンテンツ管理配信会社4が、各デジタルテレビ3毎の広告視聴履歴情報を直接管理することになる。

【0038】(2) 变形例の説明

【0039】上記実施の形態による広告配信方法を前提として、さらに、各企業スポンサーがユーザに対して付与する特典およびユーザがその特典を享受するための広告コンテンツの視聴条件からなるユーザメリット情報をユーザに提示して、ユーザが希望するユーザメリットをユーザに選択させるようにしてもよい。

【0040】つまり、広告コンテンツ管理配信会社4のホームページにおいて、ユーザメリットの閲覧要求がユーザによって指定された場合には、図4に示すように、ユーザが希望する商品（またはサービス）を選択するための商品選択画面が表示される。

【0041】商品選択画面には、購入を希望するかレン

タルを希望するかをユーザに選択させるための目的リスト31が表示されており、目的リスト31から“購入”または“レンタル”を選択すると、第1階層の商品カテゴリリスト32がフルダウンメニュー形式で表示される。

【0042】第1階層の商品カテゴリリスト32から購入またはレンタルしたい商品カテゴリを選択すると、その商品カテゴリに属する第2階層の商品カテゴリリスト33がフルダウンメニュー形式で表示される。

【0043】そして、第2階層の商品カテゴリリスト33から、ユーザが購入またはレンタルを希望する商品カテゴリを選択すると、ユーザが選択した目的（購入またはレンタル）および商品カテゴリに応じたユーザメリット選択画面が表示される。

【0044】図5は、ユーザメリット選択画面の一例を示している。

【0045】ユーザメリット選択画面には、ユーザが選択した目的（購入またはレンタル）および商品カテゴリに応じた特典および視聴条件を含むユーザメリット情報が表示される。

【0046】図5は、図4の商品選択画面において、目的として“購入”が、商品カテゴリとして“コンピュータ”がユーザによって選択された場合のユーザメリット選択画面の例を示している。

【0047】ユーザメリット選択画面には、この例では、3種類のユーザメリット情報がチェックボックスとともに表示されている。各ユーザメリット情報は、上から順に次のような意味を持っている。

【0048】(1) A株式会社のコンピュータに関する広告コンテンツを1カ月に10回以上視聴した場合に、A株式会社のコンピュータを3%割引する。

【0049】(2) B株式会社のコンピュータに関する広告コンテンツを1カ月に20回以上視聴した場合に、B株式会社のコンピュータを5%割引する。

【0050】(3) C株式会社のコンピュータに関する広告コンテンツを1カ月に25回以上視聴した場合に、C株式会社のコンピュータを8%割引する。

【0051】ユーザは、享受したいユーザメリットに対応するチェックボックスにチェックを入れる。

【0052】広告コンテンツ管理配信会社4は、上述したように、各デジタルテレビ3毎に、各ユーザの広告視聴履歴を管理しているので、ユーザが選択したユーザメリットに対応する広告コンテンツの視聴条件を満たした場合には、当該ユーザメリットを提供している企業スポンサーに、その旨を報告する。企業スポンサーは、その報告に基づいて、そのユーザメリットに応じた特典を対応する対応するユーザに付与する。

【0053】

【発明の効果】この発明によれば、ユーザが希望する広

9  
告のみを視聴できるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】広告配信システムの構成を示すブロック図である。

【図2】広告コンテンツ管理配信会社4が提供するホームページ(Webページ)によってユーザ(デジタルテレビ3)に提供される広告選択画面の一例を示す模式図である。

【図3】広告視聴頻度入力画面の一例を示す模式図である。

\*10

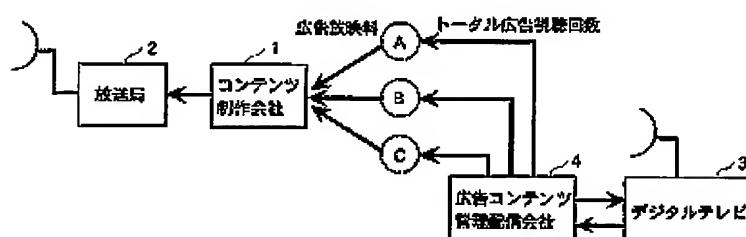
\* 【図4】商品選択画面の一例を示す模式図である。  
【図5】ユーザメリット選択画面の一例を示す模式図である。

【符号の説明】

- 1 番組コンテンツ制作会社
- 2 放送局
- 3 デジタルテレビ
- 4 広告コンテンツ管理配信会社

A, B, C スポンサー会社

【図1】



【図2】

ご視聴される広告の企業とカテゴリを選択してください。		
A 株式会社	B 株式会社	C 株式会社
事務機器	家庭機器	コンピュータ
家庭機器	産業機器	複写機
産業機器	モニタ	

1.1 1.2 1.3

【図4】

ご視聴される広告の視聴頻度を入力してください。			
21 A 株式会社	22 事務機器	23 コンピュータ	24 10回/1時間
21 A 株式会社	22 事務機器	23 携帯端末	5回/1時間
25 B 株式会社	26 自動車	27 ファミリーカー	2回/1時間
<input type="button" value="△ 広告視聴頻度"/> <input type="button" value="▽"/> 10 回/1時間			

【図3】

ご希望される商品を選択してください。		
購入	レンタル	
3.1	3.2	3.3
事務機器	家庭機器	コンピュータ
家庭機器	産業機器	複写機
産業機器		モニタ

ご希望されるユーザメリットを選択してください。			
<input type="checkbox"/> A 株式会社	コンピュータ	3%OFF	10回/1ヶ月
<input type="checkbox"/> B 株式会社	コンピュータ	5%OFF	20回/1ヶ月
<input checked="" type="checkbox"/> C 株式会社	コンピュータ	8%OFF	25回/1ヶ月

フロントページの焼き

(51)Int.Cl.	識別記号	F I	マーク(参考)
G 06 F 17/60	3 3 0	G 06 F 17/60	3 3 0
	3 3 2		3 3 2
H 04 N 5/445		H 04 N 5/445	Z

F ターム(参考) 5B049 BB06 BB49 CC02 CC36 EE01  
FF03 FF04 GG03 GG04 GG07  
GG09  
5C025 AA28 BA14 BA25 BA27 BA28  
CA01 CA09 CB19 DA04  
5C064 BA01 BA07 BB05 BB07 BC06  
BC07 BC16 BC18 BC20 BC23  
BD01 BD03 BD07 BD08 BD09